

島根県の地震

令和7（2025）年9月

・震源要素（緯度、経度、深さ、マグニチュード）は暫定値です。後日、再調査のうえ修正されることがあります。

・本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

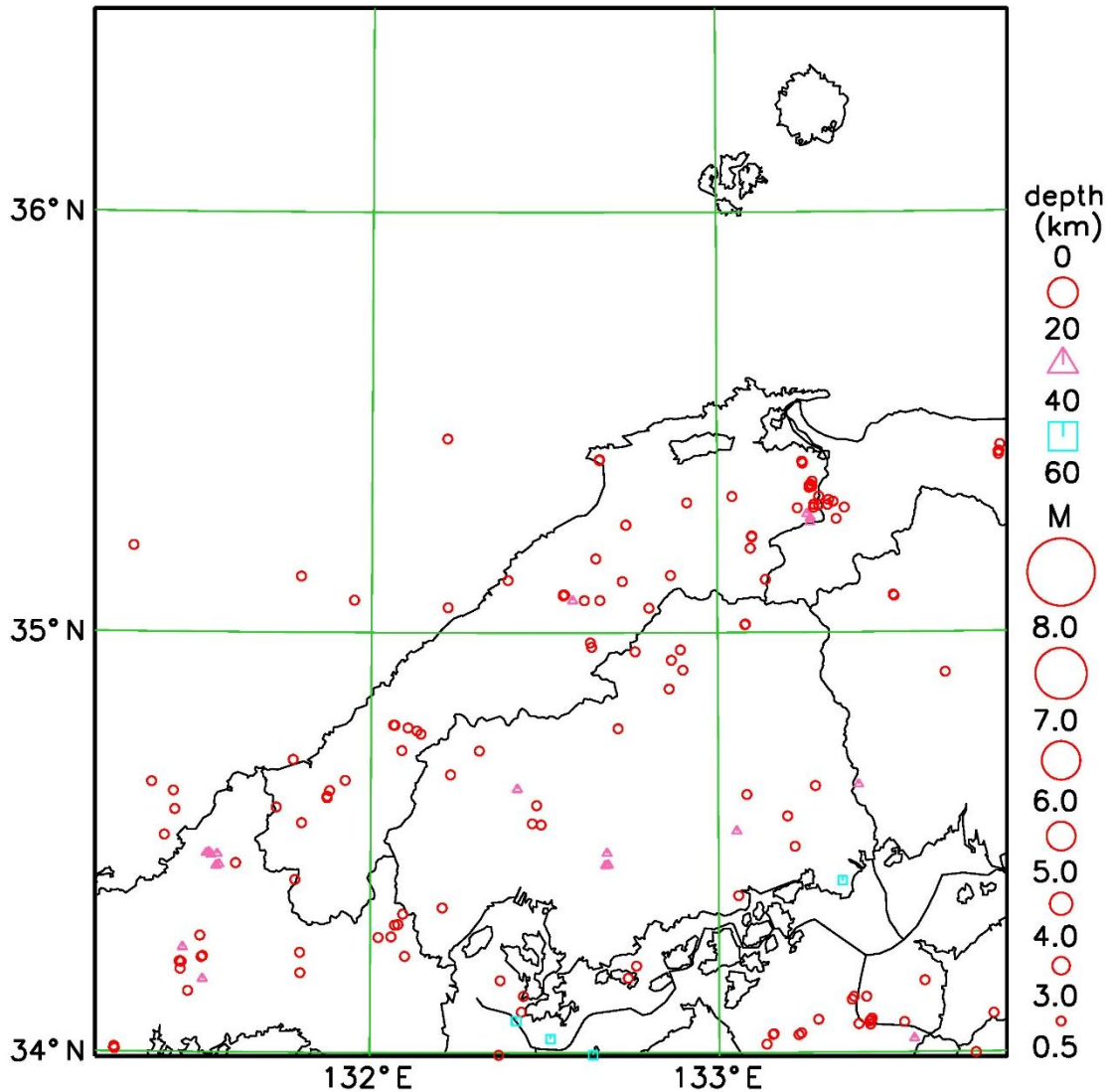
また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

松江地方気象台

島根県およびその周辺地域の地震活動 2025年9月1日～30日

2025 09 01 00:00 -- 2025 09 30 24:00

N=167



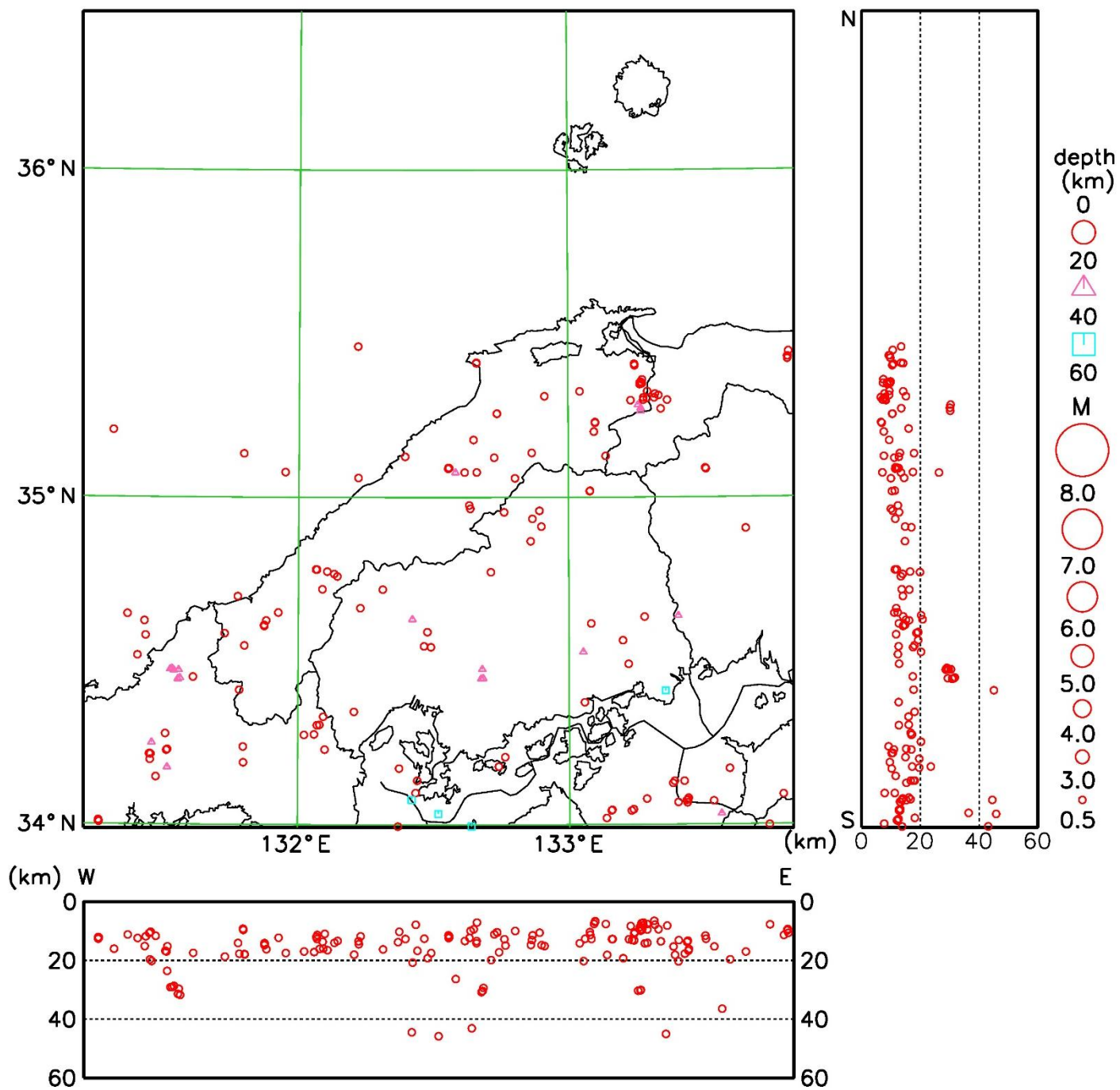
[概況]

今期間、M0.5以上を観測した地震は167回（8月は420回）でした。
また、島根県内で震度1以上を観測した地震は、0回でした。

※山口県北部の地震活動については3ページ参照。

[断面図]

2025 09 01 00:00 -- 2025 09 30 24:00



山口県北部の地震活動

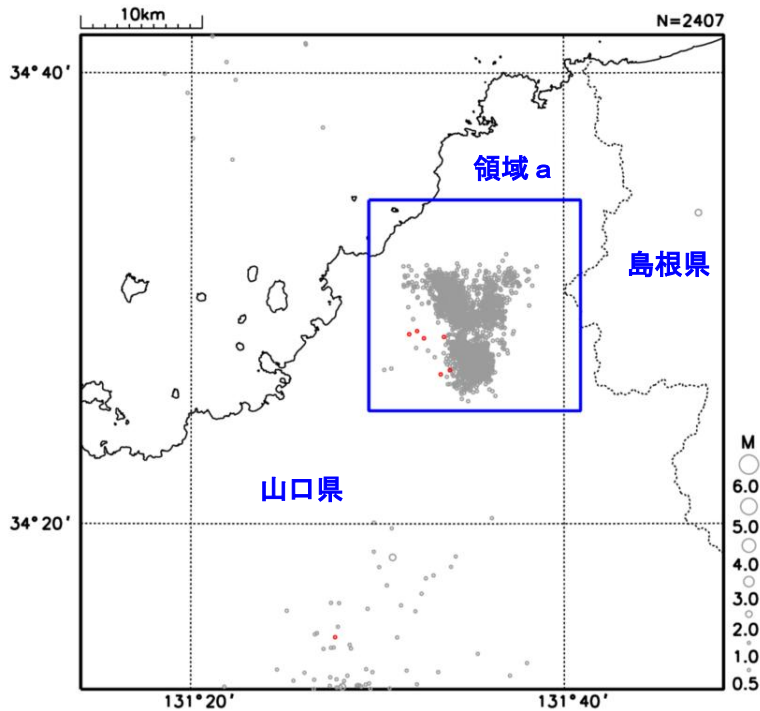


図1 震央分布図
(2000年10月1日～2025年9月30日、
深さ20～50km、 $M \geq 0.5$)
※2025年9月に発生した地震を赤色で表示

山口県北部では、これまで地震が発生していなかった場所(図1領域a)で、2025年2月からまとまった地震活動が見られるようになりました。現在、地震の発生数は減少してきていますが、活動は継続しています(図3)。

なお、9月30日現在、震度1以上を観測した地震は発生していません。

政府の地震調査委員会(※)は10月9日に公表した「2025年9月の地震活動の評価」の補足説明において、この地震活動について評価しました。評価の詳細については下記リンク先の資料(P4、P22～30)をご覧ください。

※地震調査研究推進本部に属する組織で、地震活動の評価を一元的に実施しています。

資料のリンク先

https://www.static.jishin.go.jp/resource/monthly/2025/2025_09.pdf

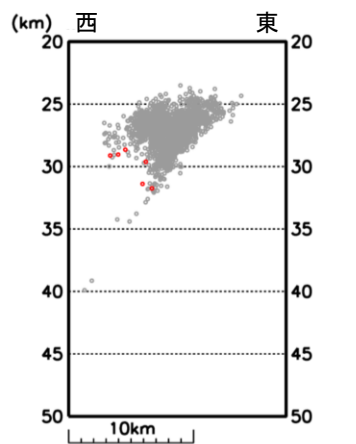


図2 図1領域a内の断面図

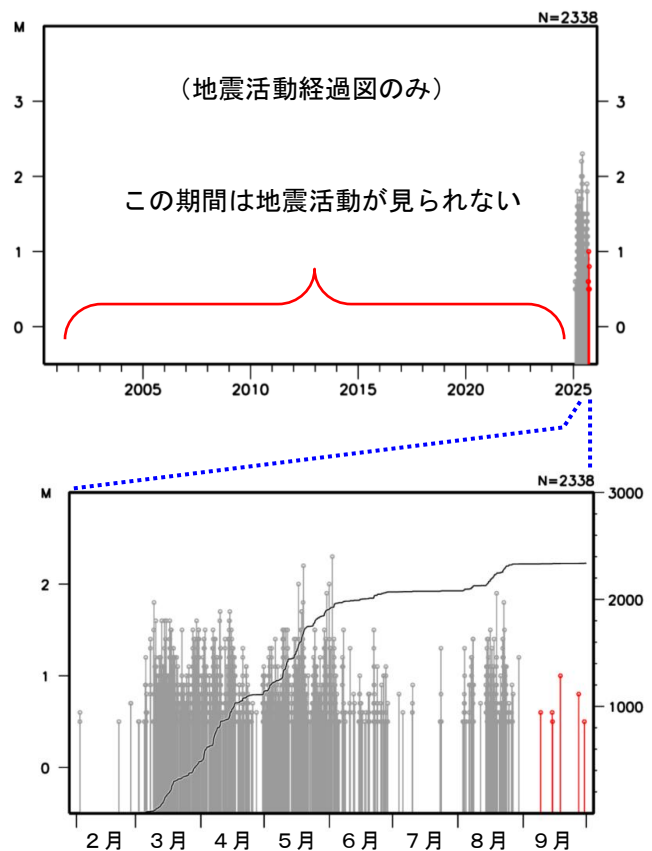


図3 図1領域a内の地震活動経過図及び回数積算図
上段：2000年10月1日～2025年9月30日
下段：2025年2月1日～9月30日

地震一口メモ

11月5日は「津波防災の日」・「世界津波の日」

平成23年（2011年）の東日本大震災では、東北地方の太平洋沿岸を襲った津波によって多くの人命が失われました。これを受けて、平成23年（2011年）6月に津波から国民の生命を守ることを目的に「津波対策の推進に関する法律」が制定され、その中で毎年11月5日が「津波防災の日」と決められています。また、平成27年（2015年）12月の国連総会で日本をはじめ世界142か国が共に提案し、11月5日が「世界津波の日」と制定されました。

この日は安政元年（1854年）の安政南海地震で和歌山県を津波が襲った際の「稲むらの火」の逸話にちなんでいます。「稲むらの火」は、濱口梧陵が安政南海地震発生後の暗闇の中、津波から逃げ遅れた人たちを、稲に火を付けて高台に導き救った実話をヒントに、島根県ゆかりの文学者でありNHKの連続テレビ小説「ばけばけ」の主人公の夫のモデルである小泉八雲ことラフカディオ・ハーンが著した「A Living God（生き神様）」を、中井常蔵が小学生にも分かる短い作品としたもので、不朽の防災教材として今も語り継がれています。

この日を中心に津波対策について国民の理解と関心を高めるため、全国各地で防災訓練やシンポジウム等が開催されています。いつ起こるか分からない地震や津波から命を守るために何が必要かをあらためて考え、行動する日にしましょう。

（参考ホームページ）

- 気象庁ホームページ「津波から身を守るために」

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/tsunami_bosai/index.html

- 内閣府ホームページ「津波防災特設サイト」

<https://tsunamibousai.jp/>

- 「稲むらの火」について

- ・稲むらの火の館ホームページ

<https://www.town.hirogawa.wakayama.jp/inamuranohi/>

- ・気象庁ホームページ「稲むらの火」

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/tsunami/inamura/p5.html>

11月5日（水）緊急地震速報の訓練を行います ～自分の命を守るためにご参加ください～

地震による揺れから身を守ることが、地震・津波防災の第一歩です。緊急地震速報を見聞きしてから強い揺れが来るまでのごく短時間に、慌てずに身を守るなど適切な行動をとるためには、訓練を通して実際に行動しておくことが重要です。このため、緊急地震速報を見聞きした際の行動を確認するための全国的な訓練を、内閣府、消防庁及び気象庁は、平成20年度より年2回、国の機関や地方公共団体のほか、学校、民間企業等や個人にも幅広く呼びかけて実施しています。

今年度2回目の訓練は、「津波防災の日」・「世界津波の日」の取組の一環として、**令和7年11月5日（水）に実施**します。訓練の詳細は下記URLをご確認ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/eew/kunren/2025/kunren.html>